

# 有限会社なにわ旅館 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、  
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年9月25日

有限会社なにわ旅館  
代表取締役社長 勝谷 有史

## ◆経営方針

「不易流行」

水の流れが、その形を一つにとどめないよう(自然体)に、お客様の変化するニーズ(ご要望)にお応えいたしましょう。

## ◆目指す姿

「障がいがある方もない方も気兼ねなく特別な体験を提供できること」

「全ての方々に旅による非日常を楽しめる温泉旅館づくり」

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 全ての人に満足頂けるサービスの提供

ユニバーサルツーリズムを通じて、質が高く、信頼ができ、持続可能なサービスを地域に提供します。

#### <具体的な取り組み>

ユニバーサルデザインを取り入れた客室の導入／障がい理解についての従業員向け研修会の開催／EV充電設備の充実／LED照明や設備見直しによるエネルギー効率の改善

#### — 関連ゴール —



### 多様な人材の活用

性別、障がい、国籍、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

#### <具体的な取り組み>

就労環境におけるあらゆる形態の差別撤廃／シニア人材に対する年齢上限のない再雇用制度の制定／障がい者雇用の推進

#### — 関連ゴール —



### 地産地消推進、環境配慮型サービス提供

地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消を推進します。また持続可能な社会の実現のため、環境配慮型サービスの提供を推進します。

#### <具体的な取り組み>

地域産の食品・製品を利用したサービスの提供／廃棄される柚の皮やヒノキの間伐材で製造した精油のSPA事業での使用／環境負荷の低いアメニティ・消耗備品の活用促進

#### — 関連ゴール —



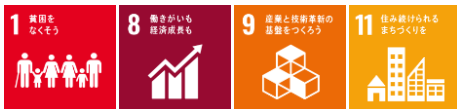
### 災害・事故・事業リスクの未然防止

災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。

#### <具体的な取り組み>

事業継続計画 (BCP) の作成／食糧・飲料水の備蓄／松江市との「災害時における宿泊施設等の提供に関する協定」の締結／障がいのあるお客様を想定した避難訓練の実施

#### — 関連ゴール —



## SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。  
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

